

◎地域防災 Web について、自然・社会特性の表示方法と災害の危険性の 5 段階表示方法の変更、災害の危険性データの更新を以下のとおり行いました。

【自然・社会特性の表示方法の変更】

自治体別に自然特性と社会特性の有無を判定するだけでなく、該当する特性の割合を国土数値情報などのデータをもとに算出し、グラフで可視化しました。



【災害の危険性のデータの更新と 5 段階表示方法の変更】

(地震)

確率論的地震動予測地図のデータを 2021 年度版に更新しました。

(液状化)

変更なし

(津波)

津波・高潮に関しては微地形区分図の判別精度を考慮し、海岸線からの距離を考慮することにより内陸部における誤判定が発生しないよう改良しました。

具体的には、選択した自治体の範囲内における、微地形区分図の凡例区分で海岸沿いの地形に相当する「三角州・海岸低地」「砂州・砂礫州」「砂丘」「砂州・砂丘間低地」「干拓地」「埋立地」「磯・岩礁」かつ海岸線から 10km 以内の総メッシュ数を集計し、自治体面積に占める割合を算出し、5 段階で表示しました。

(高潮)

選択した自治体の範囲内における、微地形区分図の凡例区分で海岸沿いの地形に相当する「三角州・海岸低地」「砂州・砂礫州」「砂丘」「砂州・砂丘間低地」「干拓地」「埋立地」「磯・岩礁」かつ、基盤地図情報の数値標高モデルデータ (10m メッシュ) から海岸線から 10km 以内で標高 5m 以下の総メッシュ数を集計し、自治体面積に占める割合を算出し、5 段階で表示しました。

(火山)

変更なし

(洪水)

選択した自治体の範囲内における、国土数値情報・浸水想定区域データに示される浸水想定区域の面積を集計して、それぞれの浸水深に応じて重みづけをして得点化し、自治体の総面積に占める割合を算出し、5段階で表示しました。なお、計算式は以下のとおり。

(洪水の危険性) = { 5 × (浸水深 5.0m 以上) + 4 × (浸水深 2.0m 以上～5.0m 未満) + 3 × (浸水深 1.0m 以上～2.0m 未満) + 2 × (浸水深 0.5m 以上～1.0m 未満) + 1 × (浸水深 0m 以上～0.5m 未満) } / 自治体の総面積

(内水氾濫)

変更なし

(土砂)

選択した自治体の範囲内における、国土数値情報・土砂災害警戒区域データから「土砂災害警戒区域(指定済)」「土砂災害特別警戒区域(指定済)」「土砂災害警戒区域(指定前)」「土砂災害特別警戒区域(指定前)」の4つの危険区域面積を算出し、自治体面積に占める割合を算出し、5段階で表示しました。

(豪雪)

選択した自治体の範囲内における、国土数値情報ダウンロードサービス・豪雪地帯(気象データ)から各年度別最深積雪(平均値)に基づいて内挿処理をした結果の最大値を算出し、5段階で表示しました。